



高齢化が進む日本、介護は大きな課題です。

現在、日本では少子高齢化が進んでいます。2020年の調査では、総人口1億2,614万6千人のうち、65才以上の人口は3,602万7千人で、高齢化率(高齢者の割合)は28.6%になっています。2045年になると高齢化率は36.8%になると予測されており、高齢者介護が大きな課題になっています。

全国の高齢化率の変化



2045年には全国の高齢化率は約37%に!

北九州市は、全国の政令指定都市の中でいちばん高齢化が進んでいるんだ!



【出典】
2015年までは総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)
2020年は総務省統計局「人口推計」(2020年4月1日現在(概算値))
2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計(2018年推計)



みんなで知ろう、介護のしごと。

人口の減少や少子高齢化が進むと、北九州市だけでなく日本全体で、将来「介護のしごと」を行う人が不足すると予測されています。

この問題を解決するために、介護ロボットやICT(情報通信技術)を活用して仕事の負担を軽くしたり、介護職員の賃金(給与)を増やすなどの取り組みを行っています。



介護保険制度って?

介護保険制度は、介護が必要になった時に、安心して自分らしく暮らせるよう、みんなで支え合う制度です。